

都内のL452R変異株PCR検査 実施状況一覧

〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕 (令和4年2月17日12時時点)

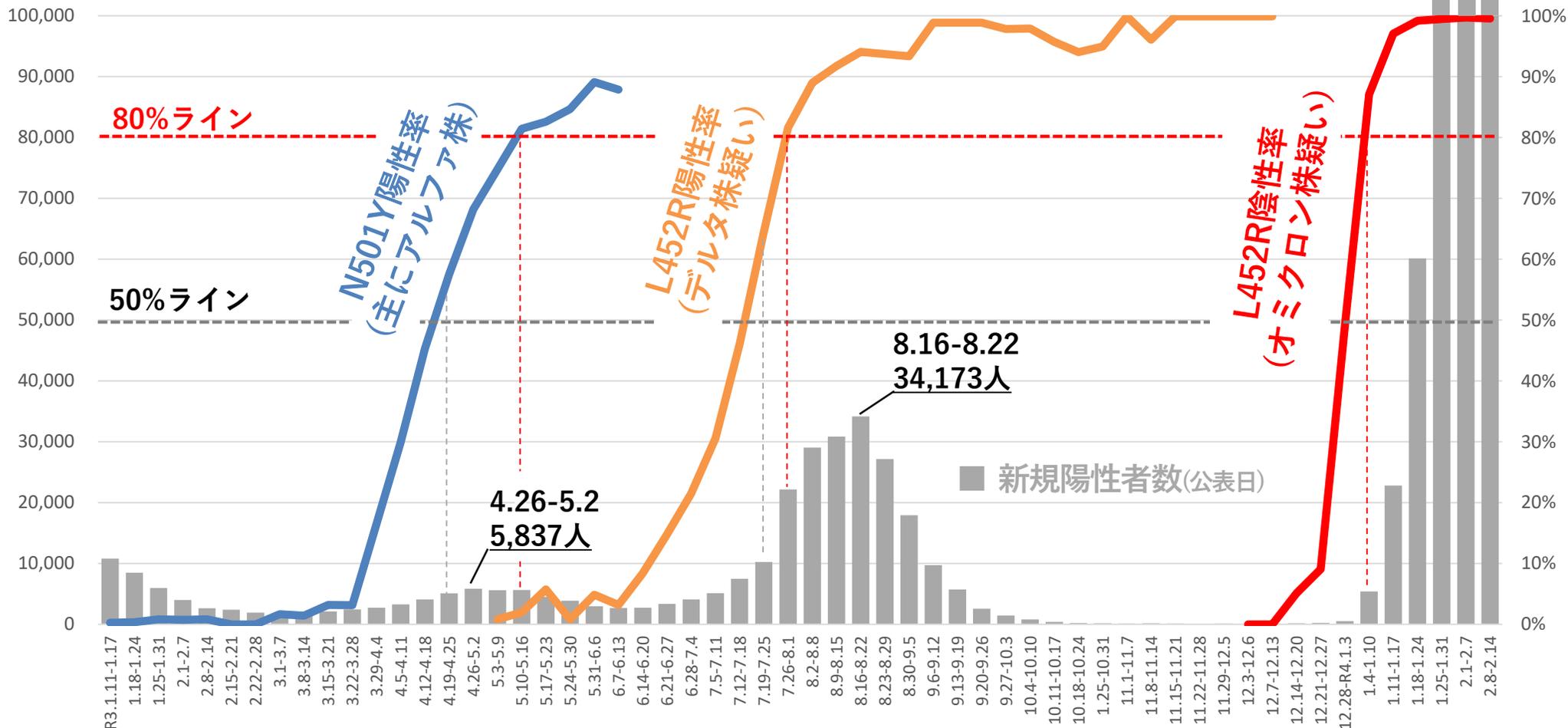
	合計数	12.2まで	12.3-12.6	12.7-12.13	12.14-12.20	12.21-12.27	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31	2.1-2.7	2.8-2.14
新規陽性者数(報告日別)	—	—	57	118	173	263	528	5,422	22,787	60,097	106,147	127,357	108,124
変異株PCR検査実施数	72,160	29	18	77	143	176	354	3,775	15,016	26,916	23,391	1,926	339
健安研	2,121	29	2	28	56	52	99	386	436	465	283	195	90
民間検査機関等	70,039	0	16	49	87	124	255	3,389	14,580	26,451	23,108	1,731	249
変異株PCR検査 実施割合	—	—	31.6%	65.3%	82.7%	66.9%	67.0%	69.6%	65.9%	44.8%	22.0%	1.5%	—
L452R変異株 陰性数	※65,356	0	0	0	6	14	158	3,058	13,644	24,915	21,518	1,750	293
健安研	1,560	0	0	0	6	7	34	286	339	408	223	181	76
民間検査機関等	63,796	0	0	0	0	7	124	2,772	13,305	24,507	21,295	1,569	217
L452R変異株 陽性数	1,656	25	17	63	111	140	164	452	401	181	97	4	1
判定不能件数	5,147	3	1	14	26	22	32	265	971	1,820	1,776	172	45
L452R変異株PCR検査 陰性率	—	—	0.0%	0.0%	5.1%	9.1%	49.1%	87.1%	97.1%	99.3%	99.6%	99.8%	99.7%

※ L452R変異株陰性65,356件のうち、2,778件がゲノム確定済み

- ※ 12月以降のL452R陰性（デルタ株ではない）は、オミクロン株であることが推測できることからL452R陰性数を計上
- ※ 民間検査機関等の実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある
- ※ L452R変異株PCR検査陰性率は、判定不能件数を、検査実施数から除外して算出
- ※ 「12.2まで」の検査結果に、アルファ株疑い1件を計上していないため、検査実施数と結果の件数が合致しない。

都内変異株の陽性率等の推移と新規陽性者数 (令和4年2月17日12時時点)

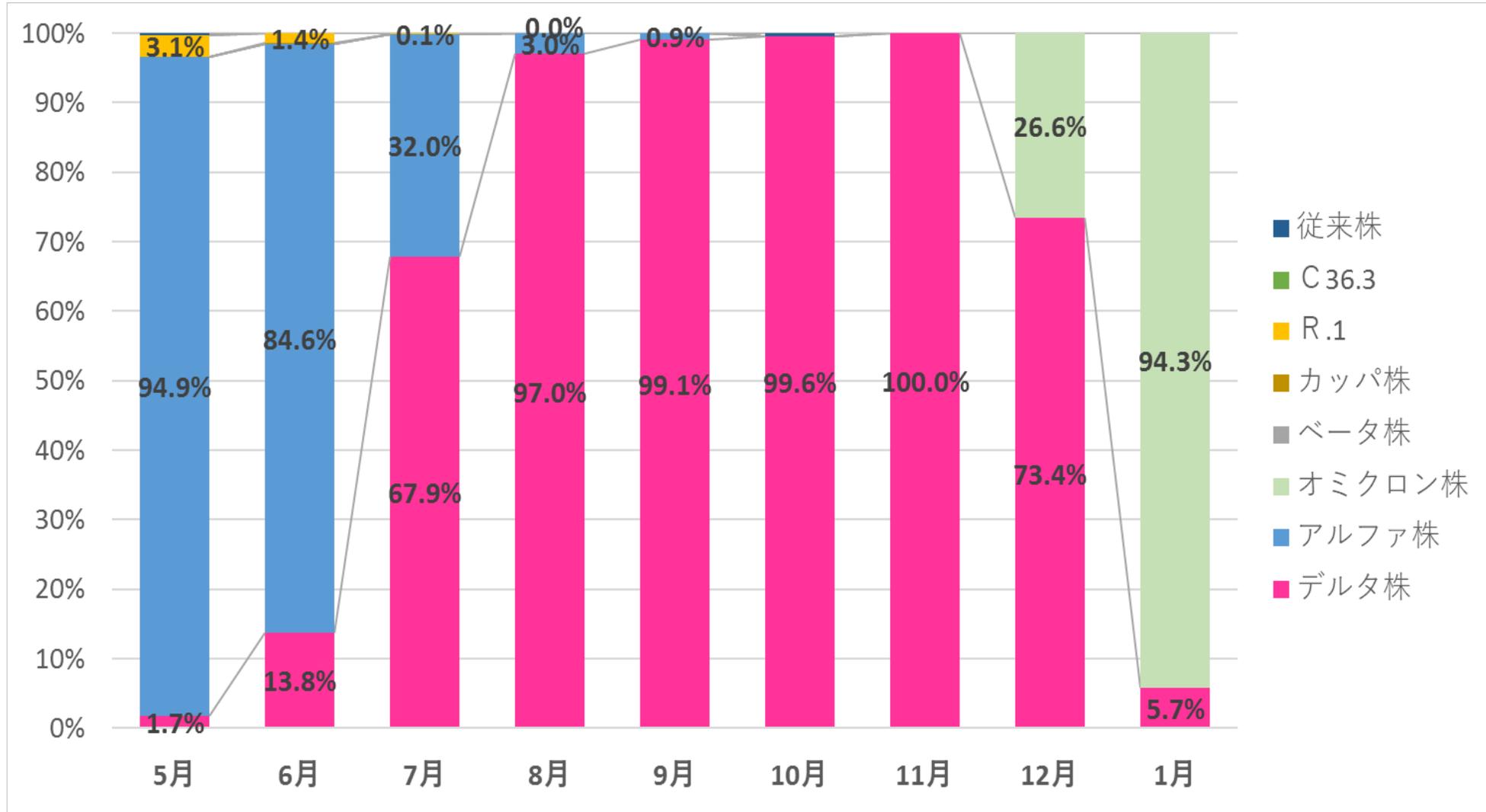
(新規陽性者数)



※ N501Y(主にアルファ株)の起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された1.11-1.17の週とする。
 ※ L452R(デルタ株疑い)の起算点は、健安研におけるスクリーニング検査開始(4/30~)後、初めて陽性が確認された5.3-5.9の週とする。なお、L452Rのスクリーニング検査は、健安研において4/30から開始した。4/29以前については、4/1から4/29に受け付けた検体のうち、検査可能な検体から抽出し、改めてスクリーニング検査を実施している。(4/29以前は5例の陽性例が検出されている。)
 ※ L452R陰性率(オミクロン株疑い)の起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された12.14-12.20の週とする。判定不能を除いて算出。
 ※ L452R陽性率についても、R3年9月6日以降の週は、判定不能分を除いて算出
 ※ R3年12月7日以降、火曜日から月曜日の1週間の期間(それ以前は、月曜日から日曜日までの1週間の期間で)集計
 ※ 新規陽性者数(公表日)は東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト(R4.2.16時点)より

ゲノム解析結果の推移

(令和4年2月17日12時時点)



※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年1月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

ゲノム解析結果について（内訳）

（令和4年2月17日12時時点）

名称	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
アルファ株	2,052	2,133	2,835	354	35	0	0	0	0
デルタ株	37	348	6,008	11,423	3,833	234	89	102	167
うちAY.4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	0	37	2,741
ベータ株	0	1	0	0	0	0	0	0	0
カッパ株	1	1	0	0	0	0	0	0	0
R.1	67	36	7	0	0	0	0	0	0
C36.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
従来株	5	1	1	0	0	1	0	0	0
計	2,163	2,520	8,851	11,777	3,868	235	89	139	2,908
健安研	55	138	161	252	55	57	26	22	781
その他	2,108	2,382	8,690	11,525	3,813	178	63	117	2,127
新規陽性者数（報告日別）	21,871	12,977	44,448	129,193	31,929	2,134	542	905	194,719
実施割合	9.9%	19.4%	19.9%	9.1%	12.1%	11.0%	16.4%	15.4%	1.5%

※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年1月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ その他は国立感染症研究所や民間検査機関

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

※ 新規陽性者数（報告日）については、12月分の都の公表数の修正を反映

オミクロン株のうち、BA.2系統の確認例 12月:1件、1月:5件(2件海外リンクなし)

オミクロン株亜種「BA.2系統」に対応した変異株PCR検査の開始

- ✓ 国外では、デンマーク、インド等でBA.2系統の占める割合が増加
- ✓ 現状、疫学的情報は限定的であり、今後の発生動向に注視が必要

〔日本国内におけるBA.2系統の確認状況〕

- 検疫524例、国内71例を確認（厚労省HP）（本年2月9日時点）
- 都内では、ゲノム解析により6例確認（本年2月17日12時時点）



- 東京iCDC ゲノム解析チームの議論を踏まえ、都健康安全研究センターで、「BA.2系統」に対応した変異株PCR検査を開始
- 都内のBA.2系統の発生状況を、いち早く把握

検査方法

- ✓ デルタ株の主な変異「L452R」の有無を確認
- ✓ オミクロン株の主な変異「E484A」とともに、BA.1系統にはあるが、BA.2系統にはない「ins214EPE」の有無を確認

検査実施状況

(1/31検体搬入分～)

検査数	検査結果 (2/17 12時時点)			
	BA.2 疑い	BA.1 疑い	デルタ株疑い	解析不能
285	1	256	1	27

【参考】

オミクロン株亜種「BA.2系統」の検査フロー

経過日数

1日

PCR検査（コロナ陽性が判明）

変異株PCR検査（迅速かつ幅広く特異な変異の有無を確認）

全国的に行われている変異株PCR検査

健安研独自のオミクロン株検査

- 「L452R」変異に着目
- デルタ株か否かで推定
(BA.2か否かは、ゲノム解析をしないとわからない。)

- 「L452R」だけでなく、「E484A」、**「ins214EPE」**に着目
- オミクロン株のうちBA.1又は**BA.2の推定可能** (※)

※ **ins214EPE あり** ⇒ **BA.1系統 濃厚**
 ins214EPE なし ⇒ **BA.2系統 濃厚**

1日

	アルファ	ベータ	ガンマ	デルタ	オミクロン	
					BA.1	BA.2
主な変異	N501Y	N501Y E484K	N501Y E484K	L452R	N501Y E484A ins214EPE	N501Y E484A

3日
~
7日

ゲノム解析（詳細の遺伝子解析を行い変異を把握） (※)
⇒オミクロン株（BA.1、BA.2含む）か否か 確定

※ゲノム解析は、ウイルス量が一定以上必要